

受けて得する特定健診

年に1度は思いやり

私は元気だから大丈夫…。でも検査してみないと分かりません。自分のからだも年に1度は定期点検してみませんか？

集団検診

秋にも同様の検診がありますが、例年、受診希望者が秋に集中し、検診を受けられない方が出ています。できるだけ、春の検診を受けるようにしましょう。

申込期間 4月25日(月)～5月31日(火)
 申込・問合せ 保健福祉課 保健福祉グループ
 ☎ 72・2000

申込締切
5月31日

検診日
6月下旬

検診日時・場所		6月21日(火)	6月22日(水)～25日(土)	6月26日(日)	6時	6時～10時	8時～10時	花月さぼーとセンター(旧花月小)
								ゆめりあ
検診名		対象者						料金
基本健診	若年者健診	30～39歳						1,000円
	特定健診	40～74歳の国民健康保険加入者						1,000円
	後期高齢者健診	75歳以上						400円
肺がん								500円
大腸がん		30歳以上						1,000円
胃がん								2,000円
前立腺がん		50～64歳の男性						1,000円
		65歳以上の男性						1,890円
肺炎ウイルス		40歳以上で未検査の方						500円
骨粗しょう症		30、35、40、45、50、55、60、65、70歳の女性						1,000円
		30歳以上で上記以外の男女						2,625円
エキノコックス症		10歳以上(5年ごと)			300円		中学生以下無料	

生活保護を受けている方は、どの検診も無料で受けられます。

花月クリニック ドクター辻のワンポイントアドバイス

特定健診とはどのような健診ですか？

辻 国民健康保険などの医療保険に加入している40歳から74歳までの方なら全員受けることができる健診です。血液検査や尿検査などがありません。毎年受けていただくと経年で自分の身体の状態が分かり、生活習慣病を予防することができます。

特定健診は、普段病院に通っているなら受けなくてもいいのですか？

辻 いいえ、違います。通院している方も受ける必要があります。なぜなら、

例えば病院での採血検査は、治療している病気に必要な検査に限定していることが多いので、生活習慣病の予防に必要な検査項目が含まれていない可能性があるからです。生活習慣病にならないための健康チェックを思っ受けてほしいです。

当院に通院している方でも、受診日と別の日に特定健診を受けている方はいます。ぜひ、お気軽にご相談ください。

花月クリニックでも特定健診を受けることができます。申込方法や費用の詳細は、13ページをご覧ください。



辻和之さん 1951年江差町生まれ。千葉大学薬学部、旭川医科大学を修了後、1992年医学博士を取得。1998年新十津川町で医療法人和漢全人会花月クリニックを開設、現在に至る。

巡回ドック

今回の巡回ドックでは、国民健康保険に加入している方に限らず、特定健診受診券を持っている方ならどなたでも特定健診を受けられます。

申込期限 5月6日(金)
 申込み J Aピンネ本所管理部管理課 ☎76・2221
 問合せ 保健福祉課保健福祉グループ ☎72・2000
 J Aピンネ本所管理部管理課 ☎76・2221

申込締切
5月6日

検診日
6月上旬

高血糖が目立つ

平成22年度に特定健診を受けた方のうち、糖尿病に関する血糖値が基準値を超えている方は約9割にのぼりました。これは、滝川保健所管内(5市5町)の平均よりも高い割合でした。

早期発見が肝心

がんは、早期に発見し、早期の治療につなげることが何より大切です。早期に発見できれば、大きな手術をしなくても済みます。また、完治する確率も高まります。

検診日	6月1日(水)、2日(木)		
検診時間	6時～9時		
場 所	ゆめりあ		
検 診 名	対 象 者	料 金	
基本健診	若年者健診	30～39歳	1,000円
	特定健診	40～74歳の国民健康保険加入者	1,000円
	後期高齢者健診	75歳以上	500円
肺 が ん		500円	
大 腸 が ん	30歳以上	1,000円	
胃 が ん		2,000円	
前立腺が ん	50～64歳の男性	1,000円	
	65歳以上の男性	2,625円	
肺炎ウイルス	40歳以上で未検査の方	500円	
骨粗しょう症	30、35、40、45、50、55、60、65、70歳の女性	1,000円	
	30歳以上で上記以外の男女	1,470円	
エキノコックス症	30歳以上(5年ごと)	300円	

4月から再開 ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種

ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンを同時接種した後、乳幼児の死亡例が7件報告されたため、全国的に予防接種の実施を見合わせていました。

しかし、厚生労働省が「今回の死亡報告例については接種とは明確な因果関係はない」と判断したため、4月から接種を再開しました。

指定医療機関追加

4月から、これまでの花月クリニックに加えて、滝川市立病院、滝川こどもクリニック、砂川市立病院でも無料で接種を受けられるようになりました。

その他の病院で接種した場合は、全額自己負担となります。

質問コーナー

Q1 これらの予防接種は、必ず受けなければいけないのですか？
 A1 いいえ。任意接種といって、保護者が接種するかどうかを決めることができます。

Q2 同時接種で死亡例が出ていますが、今後は同時接種はしないのですか？

A2 厚生労働省では、同時接種における副反応の発現率は単独接種に比べて高い傾向にあるという報告もありますが、重篤な副反応の増加は認められておらず、特に安全性上の懸念は認められないとしています。また、同時接種するときは医師がその必要性を判断し、保護者の同意を得てから実施する」となっているため、保護者が同意しなければ、単独で接種することも可能です。医師の説明をよく聞いて判断してください。

Q3 接種開始の年齢によって回数が違いますが、病気がどで間隔が空き過ぎた場合はどうなるのですか？

A3 例えば、2～7か月未満のときに1回目を接種した後、2回目の接種ができないまま、1歳になってから2回目の接種をした場合は、その回で終了です。

